

Wi-Fiを用いた超低消費電力リモコン受信モジュール

Wi-Fi Based Low-Power-Consumption Wireless Control Module

● 背景と目的

次世代スマートハウスでは、あらゆる家電製品をリモート制御して、エネルギー利用効率と利便性を高めることがもてられています。家電の制御では、従来の赤外線リモコンの他、EthernetやWi-Fiによる通信が採用されています。しかしこれらの計算機の通信向けに開発された通信機器は待機電力や、家庭内LANの設置といった追加コスト等の課題があります。

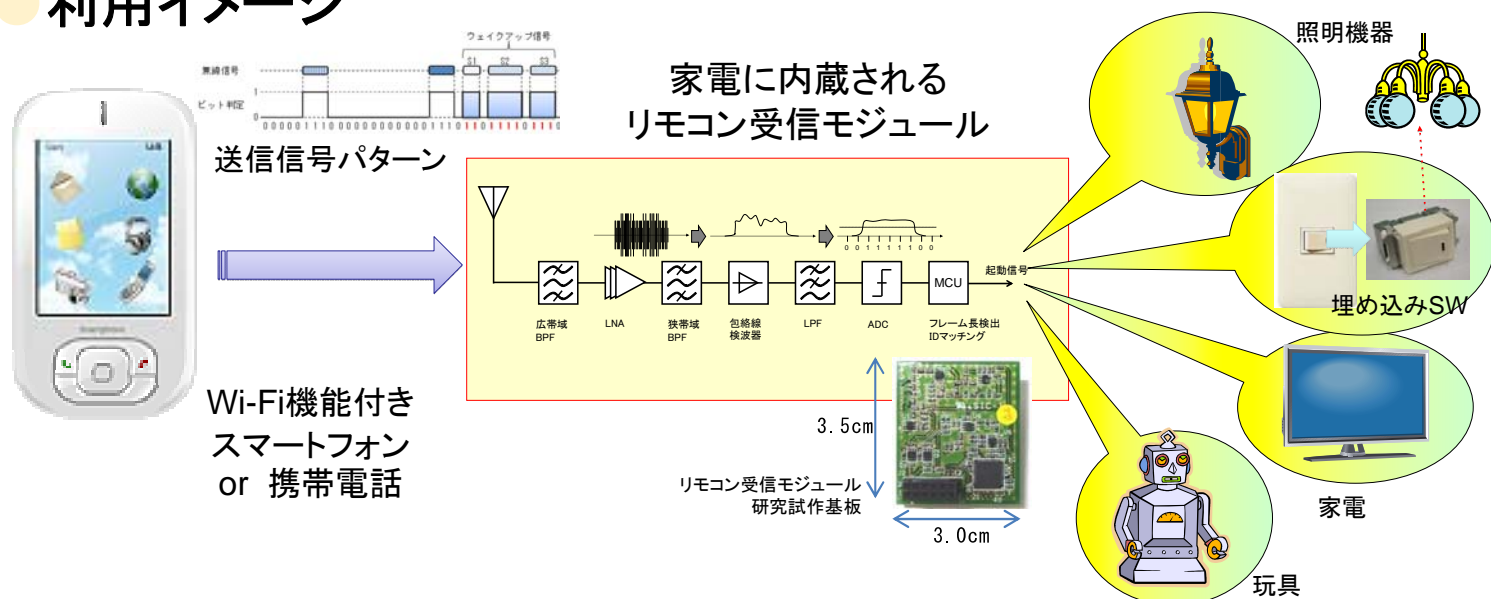
そこで、追加の周辺機器等を一切追加することなく、簡易な構成で携帯電話から家電機器をリモート制御する通信技術を開発しました。この技術は様々な分野への適応が期待されるので、ATR-Promotionsでは研究開発/評価用として、このリモコン受信モジュールの提供を予定しています。

● 特長

携帯電話が発信する無線LAN信号を受信機で直接受信し、その包絡波形から個別のIDを識別します。

- Wi-Fi通信のためのアクセスポイントは不要です。
- 見通し外でも、また、離れていてもリモコン制御できます。
- 受信機の待機電力は極めて小さくできます。
- 送信機には一般的なWi-Fi機能付きスマホ・携帯電話に専用のソフトを追加するだけでリモコン信号を発信できます。

● 利用イメージ



連絡先: 株式会社ATR-Promotions 担当 野間、河野 voice@atr-p.com

本研究開発は総務省の戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)によりATR適応コミュニケーション研究所が、NEC通信システム株式会社、千葉大学、九州工業大学、関西大学と共同で実施したものです。